

県都『あきた』創生プラン

【第14次秋田市総合計画】

基本構想



～元氣と豊かさを次世代に 人口減少を乗り越えて～

人・まち・くらし

ともにづくり ともに生きる



概要版

令和3年3月

秋田市企画財政部企画調整課

総合計画とは

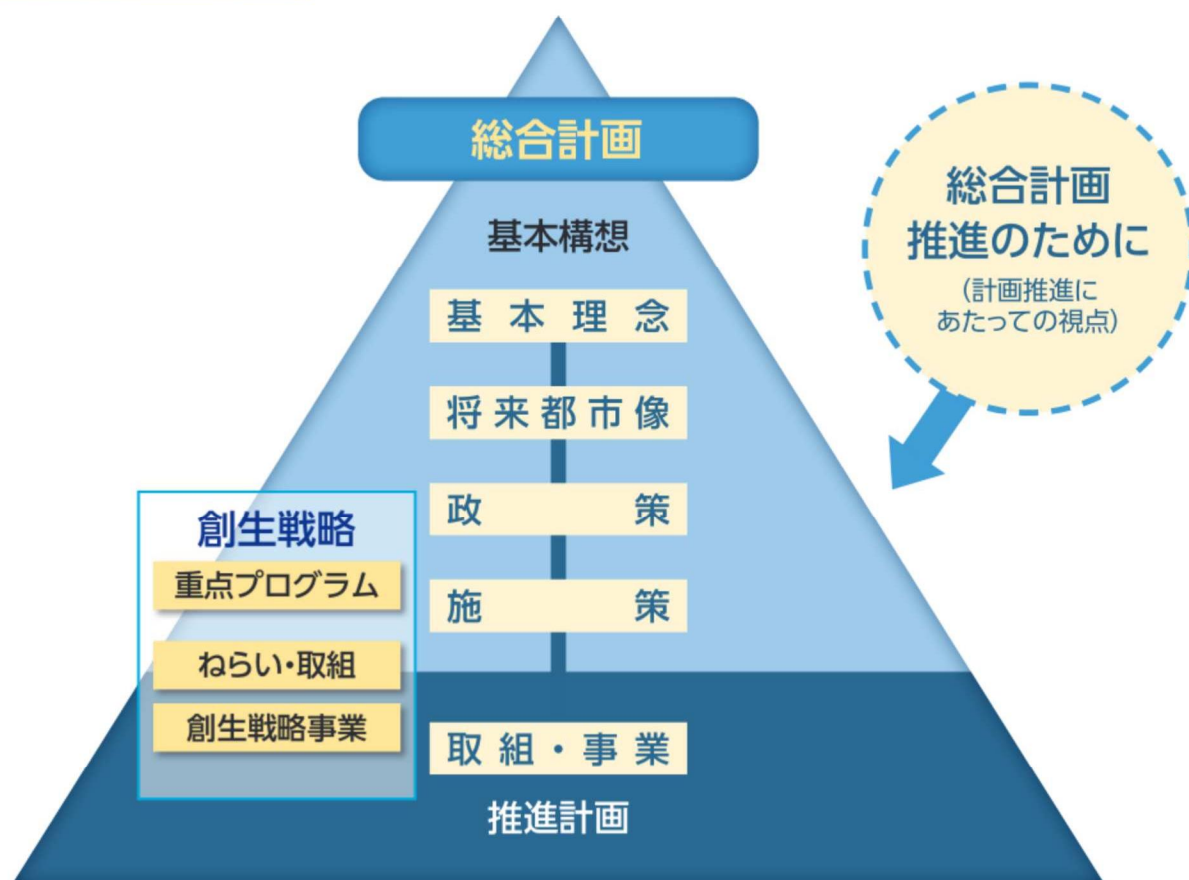
総合計画は、本市の総合的かつ計画的な行政経営を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画期間を通した目標とそれを実現するための基本的な考え方を示すものです。

総合計画の名称

人口減少・少子高齢化などの課題と、社会の変化を踏まえ、時代の大きな転換点にあって、次の世代に引き継ぐことができる元気な秋田市を、ともに「創」り、ともに「生」きるための計画として、名称を「**県都『あきた』創生プラン**」とします。

総合計画の体系

総合計画は、「基本構想」と「推進計画」で構成します。



基本構想	基本理念	本市の目指すべき姿・まちづくりの理念
	将来都市像	基本理念のもとに目指す大局的な方向性
	政策	将来都市像実現に向けた政策
	施策	政策に基づく取組の方向性
推進計画	取組・事業	施策ごとに目標を数値化した指標 施策達成のための個別の事務事業(予算事業)

基本理念

計画最終年度である令和7年度の本市の目指すべき姿として設定します。

年齢や性別を
問わず、自分らしく
いきいきと輝いている

「人」

にぎわいにあふれ、
多彩な魅力に
満ちている

「まち」

四季の移り変わりの
ように彩り豊かで、
心うるおう

「暮らし」

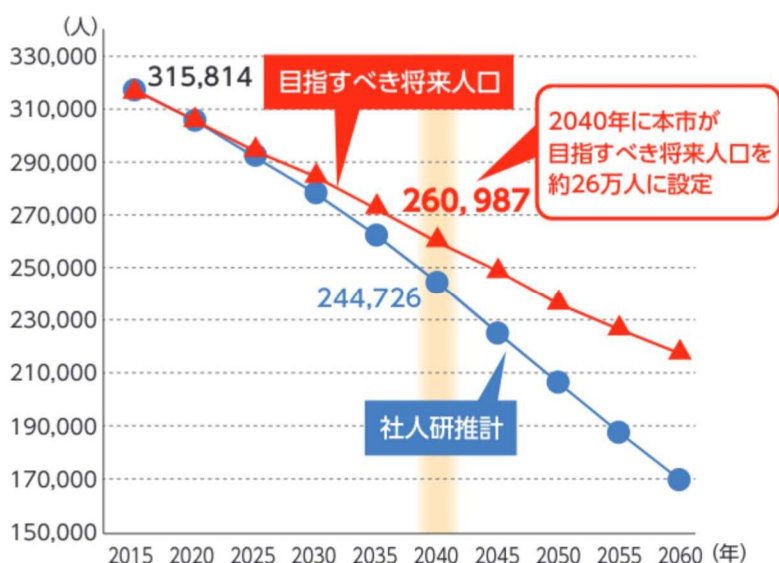
基本理念

ともにつくり ともに生きる 人・まち・暮らし

～元気と豊かさを次世代に 人口減少を乗り越えて～

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）によると、本市の人口は、2040（令和22）年に約24万5千人まで減少する一方、65歳以上の人口割合は約44%に達すると推計されています。

こうした状況から、人口減少対策を市政の最重要課題と位置付け、人口減少の抑制はもちろん、人口減少下にあっても持続可能な社会の実現に取り組み、元気な秋田市と暮らしの豊かさを次世代に引き継いでいくため、基本理念の副題として、新たに「元気と豊かさを次世代に 人口減少を乗り越えて」を掲げます。



※秋田市人口ビジョンにおいて、「2040年に約26万人」を本市の目指すべき将来人口としています。

5つの将来都市像

基本理念のもとに目指す大局的な方向性として、次の5つの将来都市像を設定し、将来都市像ごとの政策および施策について、体系として表します。



将来
都市像

1

豊かで活力に満ちたまち

産業振興により地域経済を活性化し、雇用とにぎわいを創出することにより都市としての求心力を高め、多様な交流や連携を構築し、県都として周辺圏域の発展を牽引する「豊かで活力に満ちたまち」を目指します。

1. 商工業・サービス業の振興

- 企業立地・事業拡大の推進
- 企業の活性化の推進
- 雇用の拡大と質の向上
- 貿易と物流の拡大

2. 農林水産業の振興

- 農林水産業経営の確立と食料の安定供給
- 戦略的で多様なアグリビジネスの促進
- 農山村地域の活性化と森林整備の推進

3. 交流人口の拡大と関係人口の創出、移住促進

- シティプロモーションの推進
- 観光振興の推進
- にぎわいの創出
- スポーツの力をいかした地域活性化
- 関係人口の創出・拡大
- 移住の促進



将来
都市像

2

緑あふれる環境を備えた快適なまち

利便性の高い都市基盤を整備しながら、本市の住みよい環境を保全し次世代へ継承することができるコンパクトシティを形成し、いつの時代においても、「緑あふれる環境を備えた快適なまち」を目指します。

1. 環境との調和

- 環境保全の推進
- 脱炭素社会の推進
- 循環型社会の推進

2. 都市基盤の確立

- 秩序ある都市環境の形成
- 住宅環境の整備
- 上下水道サービスの提供
- 道路整備の推進
- 公共交通の充実・確保
- 情報通信技術の利活用



健康で安全安心に暮らせるまち

生活の危険を回避できる十分な体制を整備し、市民が健やかな心身を保ちながら、「健康で安全安心に暮らせるまち」を目指します。

1. 安全な生活の実現

- 危機管理体制の確立
- 災害や雪に強いまちの確立
- 防犯・交通安全体制の確立

2. 安心して暮らせる毎日の実現

- 健全な消費・生活衛生環境の確保
- 食育の推進
- 保健・医療体制の充実
- 消防・救急体制の充実
- 社会保障制度の確保



家族と地域が支えあう元気なまち

家族の絆・地域の絆・人と人との絆のもと、すべての市民が主人公として尊重され、充実した生涯を送ることができる「家族と地域が支えあう元気なまち」を目指します。

1. 家族や地域を支える絆づくり

- 家族・地域の絆づくりの推進
- 男女共生社会の確立

2. 地域福祉の充実

- 地域福祉の推進
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実

3. 次代を担う子どもの育成

- 子ども・子育て環境の充実
- 若い世代の育成支援

4. 市民の主体的な活動の推進

- 市民による地域づくりの推進
- 市民活動の促進



人と文化をはぐくむ誇れるまち

歴史や文化をいかした魅力あるまちづくりを進めるとともに、生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組める環境の中で、誰もが目標に向かって成長し、希望に満ちた生活を送ることができる「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を目指します。

1. 文化の創造

- 文化財の保存と活用
- 生涯スポーツの推進
- 市民文化の振興
- 国際交流の推進

2. 教育の充実

- 社会教育の充実
- 高等教育の充実
- 学校教育の充実

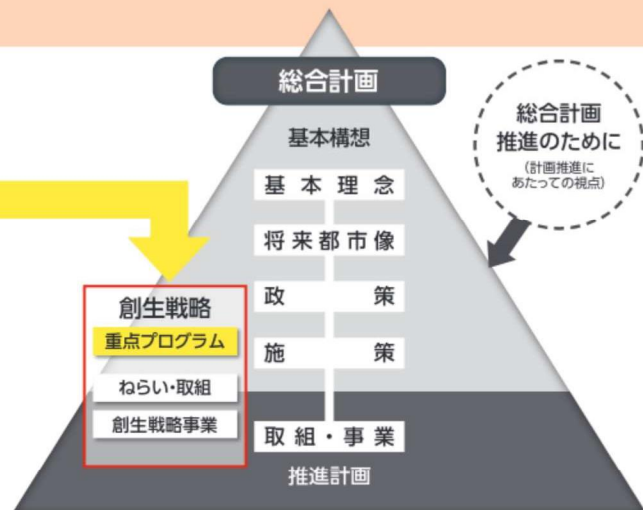


5つの創生戦略

将来都市像別の体系にとらわれずに、経営資源を一体的かつ集中的に投入する分野として設定します。

～「大都市」から地方へ。「地方で生きる」を「このまちで生きる」へ～

私たちのまちを、ともに「創」り、ともに「生」きるための「創生戦略」です。



創生
戦略

1 先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり

企業活動の活性化と新たな経済活動の創出、しごとの創出と質の向上を目指します。

重点プログラム

- I 地域の強みをいかした産業の育成・創出
- II 都市と共生する活力ある農業の実現
- III 正規雇用拡大等による雇用の質の向上
- IV 秋田港をいかした環日本海貿易の促進
- V 先端技術を活用した地域の活性化



創生
戦略

2 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上

地域資源をいかした感動に出会えるまちづくり、交流人口増加による経済活動の活性化、新しい価値を生み出す文化創造のまちづくりを目指します。

重点プログラム

- I 芸術文化の香り高いまちづくりと中心市街地活性化
- II トップスポーツへの支援
- III 観光振興とセールス・プロモーションの強化



3 未来につなぐ 環境立市あきたの推進

地域の環境特性を踏まえたライフスタイルの創造、環境関連技術を活力とした地域活性化を目指します。

重点プログラム

- I 豊かな自然をいかした環境共生スタイルの創出
- II 温室効果ガスの排出抑制によるゼロカーボンの推進
- III 市・事業者・市民の協働による循環型社会の構築



4 子どもを生み育てやすい社会づくり

子どもを安心して生み育てやすい環境づくり、子どもが心豊かで健やかに育つ環境づくりを目指します。

重点プログラム

- I 支えあいによる子ども・子育て家庭への支援
- II 安心して子育てできる環境の整備
- III 若い世代の希望の実現



5 いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり

市民の幸せの基盤となる健康・長寿の実現、高齢者が輝ける地域社会の実現、誰もが円滑に移動できる交通体系の実現を目指します。

重点プログラム

- I 生涯を通じた健康づくりと生きがいづくりの推進
- II 高齢者の多様な能力の活用
- III バリアフリー化の推進
- IV 将来にわたり持続可能な公共交通の実現
- V 多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりの推進



県都『あきた』創生プラン

第14次秋田市総合計画【概要版】



総合計画推進 のために

基本理念の実現に向け、行政サービスの向上と行政経営の確立により総合計画を推進する体制の整備を進めます。

また、下の6つの視点に基づき、基本構想に掲げる各取組を進めます。

行政の
デジタル化の
推進

市民協働

行財政改革

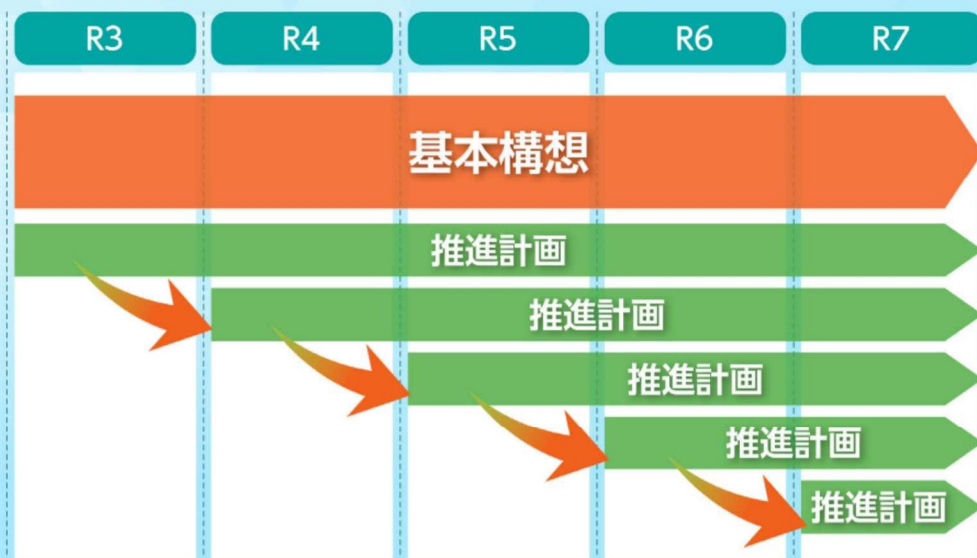
シビック
プライド
(まちへの誇りと当事者意識)
の醸成

地方分権
改革への対応

家族・地域の
絆づくり

推進計画について

推進計画では、基本構想で示した5つの将来都市像と5つの創生戦略のもと、具体の事業や予算などを示しています。計画期間中は、翌年度予算と合わせて取組・事業を毎年度更新します。



県都『あきた』創生プランについての詳細は、下記にお問合せください。

秋田市企画財政部企画調整課
TEL : 018-888-5462

詳細は、秋田市のホームページに掲載しています。

第14次秋田市総合計画

